

令和2年度 安曇野市生涯学習推進市民会議概要

1	審議会名	安曇野市生涯学習推進市民会議
2	日 時	令和2年7月27日(月) 午後1時30分から午後3時15分まで
3	会 場	安曇野市役所 大会議室(東)
4	出席者	幅修一委員(会長)、高橋みち子委員(副会長)、山崎浩委員、鳥羽將司委員、 荻原義重委員、柿本豊委員、筒井年恵委員、千國寛一委員、猿田みさ子委員、 山崎敦子委員、丸山明男委員、浅見郁子委員
5	市側出席者	平林教育部長、危機管理課二木課長、人権男女共同参画課平倉課長、 地域づくり課児玉課長補佐、長寿社会課藤澤課長補佐、子ども支援課高橋係長、 健康推進課久保田副参事、文化課三澤係長、文化課奈良澤係長、生涯学習課臼井課長 生涯学習課山口課長補佐、生涯学習課布山課長補佐、生涯学習課臼井係長、 生涯学習課中村主任、生涯学習課長谷川主任
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和2年8月7日

協 議 事 項 等

○ 会議概要

- 1 開 会 臼井生涯学習課長
- 2 あいさつ 平林教育部長
- 3 委嘱書交付
- 4 安曇野市生涯学習推進市民会議委員について
- 5 会長及び副会長の選出
- 6 協議事項
 - (1) 第2次安曇野市生涯学習推進計画の令和元年度各施策の実績について
 - (2) 第2次安曇野市生涯学習推進計画の令和2年度施策指標及び成果指標について
- 7 その他
- 8 閉 会 臼井生涯学習課長

○ 協議事項

- (1) 第2次安曇野市生涯学習推進計画の令和元年度各施策の実績について《各課から説明》

【委員】

施策項目「託児サービスの提供」について、外国籍の子どもの利用件数は把握しているか。

【事務局】

認定こども園の参観日等の利用人数を集計しており、そこまでのデータは把握していない。

【委員】

施策項目「講座開催日時の工夫」について、市民大学講座とは自立を目指す講座のことか。各地域の公民館などで開催しているのか。

【事務局】

信州大学の出前講座を活用しており、自立に限らず健康や食など市民アンケートをもとに、幅広いテーマの講座を豊科交流学習センター「きぼう」で開催している。

【委員】

施策項目「防災啓発活動の支援」について、地域住民や保育園は様々な訓練を行っているが、小・中学校はどんな訓練を行っているのか。

【事務局】

危機管理課所管部分については、防災設備の見学や災害が発生した想定のもと避難訓練を定期的で開催している。

【委員】

穂高の中学生には、地域の自主防災を学ぶ授業を設けている。小学生に対しては、各地区の避難所で非常食を配布する事業を8月末に予定している。

【委員】

施策項目「自主防災会長・自主防災リーダー研修会の開催」について、自主防災リーダー養成に係る達成率はどのくらいか。

【事務局】

市で把握している件数は、8地区程度である。

【委員】

自主防災リーダーは、役員がリーダーを降りてしまうので継続できないという地域の実態がある。
(2) 第2次安曇野市生涯学習推進計画の令和2年度施策指標及び成果指標について《各課から説明》

【委員】

- ・ 施策項目「防災啓発活動の支援」について、昨今県内外各地で河川氾濫が発生している状況で、安曇野市も安全な地域ではないと考え、水害も防災訓練の中で位置づける必要がある。ハザードマップがあっても関係ないという住民もいる。きちんとどこが安全でどこが危険か訓練を通して学ぶ必要がある。
- ・ 施策項目「災害時福祉避難スペース設置訓練」について、施設職員だけで要配慮者の救助は厳しく、地域内の助けも必要なのでは。総合的に含め、水害から命を守る組織作りが必要と考えている。今後検討いただきたい。

【事務局】

旧豊科、穂高、明科は河川を持っているので水防委員会を組織しているし、水防訓練をやっていた。来年3月に防災マップを改定するので、市としても注意喚起を行っていきたい。

【委員】

施策項目「冊子『生涯学習情報(仮)』の発行」について、育成会活動・地区公民館活動・老人クラブ等の機会に広報するので、生涯学習情報「Link(リンク)」を地区公民館へ数部置いて頂きたい。

【事務局】

ぜひ周知をお願いしたい。5地域公民館で開催している地区公民館の役員研修会などの際にお渡ししたい。

【委員】

施策項目「環境講座の開催」について、レジ袋の有料化が7月から始まり、市民が大分理解を深めてきているところだが、昨今は水害で甚大な被害が続く、地球環境について真剣に考えなければならぬ。環境について考え実践できる講座を開催いただきたい。

【事務局】

環境課へ伝え、環境について真剣に考える機会を設けさせていただく。

【委員】

施策項目「公民館、交流学習センター等の会議室のWi-Fi環境拡充」の関連で、地区公民館で地域づくりの支援でパソコンを設置したが、インターネットを引きたい場合の対応策はあるか。

【事務局】

施策指標の数値は市所管の施設である5地域公民館と交流学習センターのWi-Fiの利用件数を表している。98地区公民館については各地区で管理していただいております。インターネットの設置の支援までは現在のところ市では行っていない。

【委員】

施策項目「ヤングアダルト・高齢者を対象とした企画事業」について、中高生という日本語で言った方が表現として適切ではないか。

【事務局】

図書館で掲示するときも、『YA』と表示したり、『ヤングアダルト(10代、中高生)』と表記している。生涯推進計画の表記とも整合性をとらないといけないとは思っている。

【委員】

施策項目「公民館講座の開催」について、地域での集まりの時にも交通手段がない人が増えてきている。交通手段がない人の参加について良い方法があれば教えてほしい。

【事務局】

徒歩や自転車でも参加できるよう各5地域の公民館で講座を開催しているが、5地域の公民館であっても徒歩で来ることが難しい方もいる。理想であれば一番身近な98地区公民館で講座を開催することが徒歩でも参加しやすいと思われる。地区公民館活動への補助金交付や地区公民館での講座開催の提案等支援を行っていきたい。

【委員】

施策項目「人権に関する講座の開催」について、感染者が誹謗・中傷を浴びるなど問題となっているが、人権侵害を止めていくなど、コロナ禍の中で成長していかなければいけないと思っている。

【事務局】

今後秋以降開催を予定している研修会もあるので、コロナ差別についてもテーマとして取り上げていきたい。